

編集後記

総合文化研究所の『年報』第1号が、1991年4月の研究所発足以来2年4ヶ月の年月を経てここに発刊のはこびとなりました。研究所のねらいは当初から、学内の多様な専門領域のスタッフの研究を縦横に組み合わせた共同研究の推進と、キリスト教を中心テーマとする継続的研究の二点におかれてきました。今回、この研究所構想に対して満を持した各研究グループの共同研究の成果が公刊され、世に問われることとなります。

これまで研究所の事務的な連絡や、各プロジェクトの研究動向の紹介、中間報告などを主として行うための『総合文化研究所レター』が第2号まで発刊されてきました。今後、これは『年報』に吸収されることとなります。研究所の発足から『年報』発刊までの歩みの記録として、その創刊号、第2号の目次を本『年報』の巻末に収録することにしました。

初代研究所所長 村武 精一教授に代わり、本年3月より 加藤 晃教授が研究所所長に就任されました。村武前所長の『年報』編集方針を基本的に引き継ぎながら、加藤所長と編集担当委員は研究所としての初めての編集作業に入り、体裁や用紙の紙質の検討から始めて、ここにようやく『年報』が具体的なかたちをとることになりました。

発刊が当初の計画より遅れてしまいました。原稿をご執筆下さった研究分担者の方々、期待を寄せつつご助言を賜った多くの方々にお礼を申し上げます。次号への参考といたしますので、ぜひご批判やお気づきの点を編集係までお寄せ下さい。

(前之園 幸一郎)